

SHIN CLUB 308

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「Ys terrace denenchofu」撮影：木谷元

今月のトーク/monthly talk

コンクリートの表情

日本におけるRC造住宅の歴史は古く、なかでも先駆けとして有名なのが、1916年に竣工した長崎県の軍艦島にあるRC造集合住宅「30号棟」。100年以上たった今でも解体されず、その姿を残しています。その後多くの建築家の手によってRC造住宅が建築され、建築家 安藤忠雄氏や鈴木眞一氏など、その名を残す建築作品には、多くのRC造の建物が見受けられるようになりました。

RC造建築に欠かせないのが、コンクリートを打設する際に使用される型枠材。建物構造部の形成材であり、外壁などの意匠を決めるうえでとても重要な建材です。当時は見た目も美しく加工がしやすいことから杉板型枠が主流で、1960年に建設された名古屋大学豊田講堂は、当時の最新技術であるコンクリート打ち放しを表現するにあたり杉板本実型枠が採用された、歴史的にも貴重な建築物です。1965年頃になると、コンクリート型枠用合板（コンパネ）が普及し始め、脱型後の均一性の高さや再利用性などの観点から型枠材の主流となっていきました。今では建築技術が大きく発展し、木製型枠の他にパネコート型枠やFRP型枠、鋼製型枠、型枠にシートを貼り付けて様々な表情を生み出すなど、その表現の自由度は大きく変化しています。

「建て主様のご要望が『シンプル・スマート・オープン』でしたので、賃貸部と建て主邸の綺麗な関係性とスラブの重量感を軽減させるため、水平にスラブを浮かべて層間に大きな開口がある構成を採用し

ました。スラブ層間の仕上げ素材は木とコンクリートの2種のみで構成し、シンプルさと洗練さを演出しますが、コンクリートは表情を出すためにいろいろな型枠を検討しました。その最中、数ある施工事例を確認していたところ、以前辰さんで建築された『千駄ヶ谷公衆便所』の洗い出しシート型枠仕上げが浮上。実際に見に行き、その表情の出かたに納得したので採用したんです」と「Ys terrace denenchofu」の設計を担当されたPORTLOUNGEの幸山真也氏。

表現の自由度が高いRC造建築ですが、思い描くその表情に至るまでは、いくつもの苦労があったそうです。

「表情を出すのが難しいと伺っていましたが、やってみると本当に大変でした。打設のタイミング次第で躯体自体の色も変化するし、脱型後の洗浄圧が少し違うと均一に出なかったり。また、今回構造上配筋計画が複雑だったので、打設自体も難易度が高かったと思います。ですが、最終的には綺麗にまとめていただき、とても味のある表情を造ることが出来ました。非常に感謝しています」（幸山氏）

無機質で洗練された雰囲気を演出でき、型枠の継ぎ目やPコンもデザインの一部として評価されるRC造建築。素材の組み合わせでコントラストを付けることで無限の表現ができます。RC造建築が得意な弊社も、その魅力に取りつかれた1ユーザーに過ぎないです。

Ys terrace denenchofu



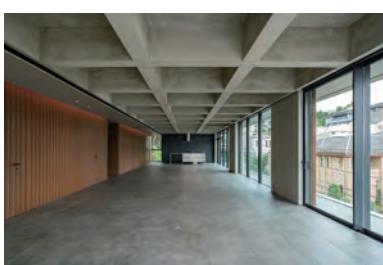
建物全景。街に溶け込む外観



2階。フルオープンサッシから望む絶景



エントランス



2階リビングダイニング。天井はグリッド梁

浮遊スラブ

「シンプル・スマート・オープン」をテーマに、田園調布という街を見たとき、街に溶け込み且つ高級住宅街に建つに値する洗練さは必須であった。派手過ぎず、控えめではあるが漂う重厚感。それらを満たし、建て主様が喜ぶ建物になるよう、まずは空間構成を決めていく。

三層のスラブを浮かせたように見せるポイントとして、最上階のバルコニー側サッシをフルオープンとし、開放的な空間とする目的があった。天井のグリッド梁と、サッシ間に厚さ300mmほどの壁柱をX軸Y軸で配置し下階に力を流す構造とすることで、フルオープンサッシでかつ、無柱空間とすることが可能になった。

また、ワンルーム自体を凹凸のない大きな空間とするため、枠なしの扉を採用。各機能のある部屋は建物背面側に集約し、リビングから多摩川の眺望を余すことなく楽しめるように計画。間仕切壁の「扉」という存在感を無くすため、敢えて壁・扉にリブを設置し、「壁が開く」という、生活感を漂わせない工夫を施した。

建て主様の想いから、貸室間取りはメゾネットを採用。200m²を有し、また接地性を高めるため、玄関アプローチと庭先を設けた。これは一棟一棟の建物が大きい田園調布の街並みならではであり、貸家であるが、一戸建て住宅の邸宅感を与える意味でも非常に意識した点である。

内装は、海外の方でも不自由なく使えるよう、水回りやキッチンは外国人スケールに合わせて設計。「田園調布・賃貸・200m²」の条件に該当する仕上がりとなった。

洗練された、自由度の高い住居空間で、田園調布ならではの生活を過ごしていただきたい。

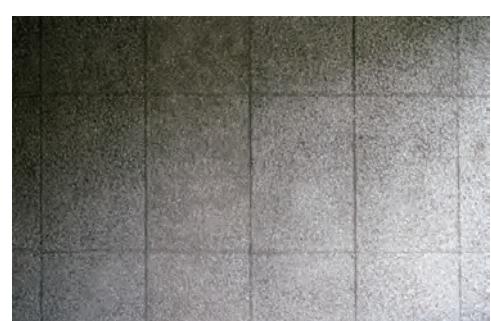
(PORTLOUNGE／幸山真也氏 談)



「壁が開く」イメージを形にした、無駄のない木製建具



高級感のある水回り



こだわりのある外壁洗い出し仕上げ



全景パノラマ



貸室アプローチ



海外向けを意識した貸室リビング

構造：RC造
規模：地下1階・地上2階
用途：共同住宅3戸
設計：PORTLOUNGE／幸山真也・内保由衣・駒澤直登・阪田恵美・川崎浩史・Phyo Kyaw Pyae
竣工：2025年10月
施工担当：池上・田中／池上チーム
撮影：木谷元

Shinya Kohyama



今月は、「Ys terrace denenchofu」の設計者、PORTLOUNGE の主宰 幸山真也氏にお話を伺いました。

一ともと建築にご興味がおありだったのでしょうか。

幸山：そこまで興味は持っていましたが、なぜか小学校の卒業文集に「建築家」って書いていました（笑）。幼少期から絵を描くのが好きだったので、母から「絵を描くことを仕事にするなら建築系だ」と言われていたので、建築がどういった仕事なのかも分からないまどりあえず文集に書いたんだと思います。

その後、高校で理系を選択したことで進学を決める際、建築学科が目に入り、「そういうえば卒業文集でそんなこと書いたな」と思い出して、工学の建築学科に進学しました。

父は内装の施工会社を営んでいましたし、母も絵が上手かったので、「モノづくり」という点では、幼少期から少なからず影響を受けていたかもしれませんね。

一大学院ではどのようなご研究をされていたのでしょうか。

幸山：都市開発計画の研究室に在籍していたのですが、建物一棟一棟のデザインではなく、広場や施設などの空間で、実際どのような視点で皆様に使われているかなど、そのあり方や考え方を研究していました。それを設計計画や意匠デザインに落とし込めるように情報を分析するんです。それらは人の立場の目線で見していくので、心理的な部分や心情的な部分など、その空間を構成する人と環境の関係を分析していくイメージです。「心地が良いとは、どういった環境がもたらしているのか」「なぜその場所に自然と人が集まつてくるのか」とか。建築単体ではなく、空間自体の理を解いていく。

例えば、何もない空間に人一人が立っていると、他者は敢えて近づくことはしないけど、そこに植栽を置いたり、段差を付けてあげることで、同じ距離間でも緊張感が少くなり、人が集まつてくる。その違いは何か、というのを突き詰めて研究していくんです。お金をかけて建てたのに人が集まつてない事例や、逆に成功している事例を評価していくと、とても奥が深い。

それをパブリック性のある建物や、大きな建物内にあるホワイエやピロティなども研究対象としておこなっていました。「居心地が良い、

とはどういう空間で、そこに建築はどれくらい寄与しているんだ」とか研究していくと、建物のあり方や必要性、その意味がよく見えます。実際に設計をおこなうときは、その部分は特に



PORTLOUNGE 事務所にて。左から駒澤氏・内保氏・幸山氏

気を使っています。建物空間において、そこにいる人はどこに座るのか、どう見えているのか、どれくらいのボリュームでそれらを感じるのか。

一設計をおこなう前にそのようなストーリーがあるのです。

幸山：人によって感じ方は違うので、理屈を言葉にするのは結構難しい。なので正解は1つではないんだと思います。それを意識すると、ただカッコいい空間を作るのではなく、考えられた上でそうなっているという本当の設計意図が見えてきます。

建物1つではなく、もっと俯瞰で、ゆるく空間を見ているような。空間構成や接続、その場にいるヒトと空間の関係性から考えて建物を設計していきたいですね。

一日日常生活でも気になってしまったりするのでは。

幸山：結構気になりますね（笑）。人の動線などは特に。自分で作るときも動線は非常に意識している部分もあります。人の動きや、人と空間の繋がりは、建物ができたときに最初に確認するところです。今回の「Ys terrace denenchofu」も低層メゾネットで行き来ができる、自分たちのパーソナルな空間が外部にもあります。シンプルな動線構成ですが、多くの点で意識して設計しました。

一独立されてから4年を迎えた今日、今後携わってみたい計画などはありますか。

幸山：前職では1万m²を超える鉄骨造の建物計画が多かったので、今回のようなRC造の住宅も定期的にやっていきたいですね。直接一般の建て主様と打合せしていく場面は、設計として大事なことだと感じています。それと、水族館や公園など人によって使い方が異なる建物も良いですね。お金は生まないけど、その地において重要な意味を持つ場所というのを自分の手で生み出してみたいですね。

一素敵な構想ですね。本日はありがとうございました。

幸山 真也（こうやま しんや）

2005年 大阪大学工学部工学研究科 博士後期課程修了
2005年 株式会社プランテック総合計画事務所
2010年 同 執行役員大阪事務所長
2013年 同 取締役大阪事務所長
2014年 同 取締役副社長
2016年 同 代表取締役副社長
2020年 株式会社プランテックアソシエイツ取締役
2022年 株式会社PORTLOUNGE 代表

<https://www.portlounge.co.jp/>



TOPICS/INFORMATION

ZEN 社一丸大運動会 第13回大会 2025年11月1日(土)

— よみうりランド 天然芝グラウンド —

毎年恒例のZENホールディングスの大運動会が開催されました。昨年は雨天により中止となつたため、今回2年ぶりの開催。前日まで雨が降っており開催自体が危ぶまれましたが、当日は気持ちの良い秋晴れに恵まれ、「スポーツの秋」を堪能するには十分な環境での開催です。



男女混合参加の玉入れ

前回大会で惜しくも2位という結果だった辰。「リベンジ必勝！」を胸に、全社員熱い思いで会場に入ります。目標は優勝のみ。

開会の挨拶のあと、前回大会優勝の株式会社ユニホーによる優勝旗返還がおこなわれ、運動会実行委員による選手宣誓、全体での準備運動をおこない競技がスタートしました。第一種目は徒競走です。乳幼児・小学生が自由参加の徒競走（お楽しみ袋付）と小学生参加可の50m走、20～40代の男性メインの135m走で、弊社からも若手社員を中心に選手選考をおこない、高順位を狙います。

第二種目は綱引きの予定でしたが、前日の雨の影響で急遽プログラムを変更。第三種目で予定していた玉入れを2回戦おこなうこととなり、「綱引きといえば辰」としては、大きな得点源を失いかなりの痛手。焦りを感じながらも玉入れがスタートし、老若男女問わず、皆一心不乱に籠へ玉を投げ込みます。



軽快に送られた大玉おくり

玉入れが終了すると、第四種目のマラソンがおこなわれ、720m・1080mを走りきり、午前の部が終了。各自控えテントに戻り昼食・休憩を取りました。

第五種目はレクリエーションの○×ゲーム（チーム得点非対象）で、続く第六種目は大玉おくり。綱引きが中止となつたことで、ここで大量得点が欲しい辰。1位を取り、その後の競技を有利に進めていきたいところです。競技スタート時点で32秒以内にゴールすれば、その勝機があると分かり、参加者気合を入れて配置に整列。スタートの合図と共に走り出し、勢いよく送られる大玉は、流れるように頭上を通過。岩本と第1建築部田中の



持久力が試されるマラソン

点が欲しい辰。1位を取り、その後の競技を有利に進めていきたいところです。競技スタート時点で32秒以内にゴールすれば、その勝機があると分かり、参加者気合を入れて配置に整列。スタートの合図と共に走り出し、勢いよく送られる大玉は、流れのように頭上を通過。岩本と第1建築部田中の

「HARVEY 芝大門」新築工事

安全祈願祭 10月29日(水)



やっとの思いで着工することが出来ました。竣工に向けて安全に工事を取り組んで参ります。

構造 / 規模 : SRC 造 / 地上 8 階
用途 : 店舗・事務所
設計 : 小川晋一都市建築設計事務所
施工担当 : 鯨津・福永・牧山・酒井 / 鯨津チーム
竣工日 : 2026 年 12 月

編集後記

毎年恒例の大運動会、非常に盛り上りました。社会になると勝負ごとに本気で向き合う機会は減ってしまいます。童心に戻り、その熱い気持ちを呼び起こしてくれる本会は社員・ご家族・協力業者にとっても素晴らしいものだと思います。競技に出て出なくて気持ちは1つ! 次回大会も楽しみです。

(株)辰通信 Vol.308 発行日 2025年11月10日

編集人: 本間夏来/土屋祐一郎 発行人: 岩本健寿

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS 渋谷ビル5F TEL:03-3486-1570

FAX:03-3486-1450 E-mail : daihyo@esna.co.jp URL: http://www.esna.co.jp

素早い玉送りによって折り返しし、最速で大玉を鎮座台に置きます。タイムは22秒。見事種目1位を獲得し、皆で大歓喜を上げました。



タスキを繋いだムカデリレー

第七種目のムカデ競争では、なかなか息が合わずつまずく場面が。残念ながら種目最下位となり、この時点でも辰が優勝するには、次の最終種目である事業会社対抗リレーで現在1位のZEN連合に勝つor1位を取ることに絞られました。今年は社長or役員の参加が必須な代表者選抜リレーと各社俊足を揃えた正真正銘のガチンコリレーの2レースがおこなわれ、トラックを囲むように大観衆が見守るなかレースがスタート。各社社旗を大きくはためかせながら割れんばかりの声援を送ります。激しい競合いや、熱いデッドヒートに大きな歓声が鳴り止みません。果たして結果は....。

大歓声のなか全競技が終了し、最後は全体でのストレッチ、お楽しみ抽選会を経て閉会式となりました。



得点順位が発表され、見事第13回大会を制したのは獲得点513の株式会社辰。第8回大会ぶり、4度目の総合優勝です。7年越しの王者奪還に、発表の瞬間は参加者全員喜びの声を上げました。最終種目のリレーは、デッドヒートの末、種目1位を獲得していました。王者防衛のため、次回大会も気が抜けない戦いとなるでしょう。贈られた優勝旗は、本社エントランスに飾られています。ご来社の際はぜひご覧ください。競技に参加された方々、大変お疲れ様でした。



【総合順位】

1位	辰	513点
2位	LP 西洋	423点
3位	ZEN 連合	417点
4位	池田建設	356点
5位	ユニホー	286点

優勝旗と共に記念写真。皆様お疲れ様でした。次回大会も優勝！

「(仮称)世田谷区尾山台一丁目PJ」新築工事

上棟式 10月20日(月)



工期も問題なく進んでおります。残りの内装も安全に取り組んで参ります。

構造 / 規模 : S 造 / 地上 3 階
用途 : 長屋
設計 : 坂本建築設計事務所
施工担当 : 鯨津・鯨津チーム
竣工日 : 2025 年 12 月

「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。
バックナンバーもPDFで掲載しています。
スマホはこちらから→

